

2022 年 11 月における評価方法の変更概要

評価方法を次の通り変更しました。

<外皮>

1. 共同住宅等の住戸間の熱損失の合理化に対応するため、隣接空間の種類に応じて選択される温度差係数の種類が追加されました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第二節「外皮性能」

<暖房設備／冷房設備>

2. 2022 年 11 月から施行される新しい建築物エネルギー消費性能基準および建築物エネルギー消費性能誘導基準に対応するため、住宅の種類が「共同」である場合について、暖房設備および冷房設備の基準一次エネルギー消費量の算定に係る外皮平均熱貫流率および平均日射熱取得率の設定を変更しました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第二章「住宅部分の一次エネルギー消費量」第三節「基準一次エネルギー消費量」

以 上

※「技術情報」とは、国立研究開発法人 建築研究所が公開する「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)現行版」です。
「資料」、「Excel ツール」および「WEB アプリ」とは、WEB サイト「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」において公開する入力補助ツール・補足資料です。